

Mizuho Securities Asia Limited のソウル支店開設認可の取得について

みずほ証券株式会社（取締役社長：坂井 辰史）の香港子会社である、Mizuho Securities Asia Limited は、大韓民国（以下「韓国」）現地当局である金融委員会（Financial Services Commission）より、ソウルにおける支店開設の認可を取得しました。これを受けて、2017年度中の開業を目指して、準備を進めていきます。

韓国は、人口 51 百万人、経済規模（GDP）約 1 兆 4 千億ドルの、アジア地域における主要な国の一つであり、製造業の輸出を原動力として経済成長を続けています。また、韓国は、債券市場や株式市場が発達しており、アジア地域における主要な金融市場の一つでもあります。首都であるソウルには、多くの現地の大手企業や金融機関が本店を設置していることに加え、韓国に進出した多くの日系企業や外資系金融機関が、現地でのビジネスの本拠地としています。

当社グループは、新設するソウル支店を通じ、オフショア債を起債する韓国の発行体を対象とする DCM マーケティング業務、韓国の機関投資家への債券セールス業務を行います。

〈みずほ〉は、2016 年度に米州コーポレート債[※]の DCM のリーグテーブルで 9 位（日系金融機関としては 1 位）にランクされ、また、円建債券においてトップティアの市場取引シェアを獲得するなどの実績があります。グローバルな引受体制・セールス&トレーディング体制をはじめとするグループの総合力を活用して、韓国のお客さまに対してもサービスを提供することで、お客さまの資金調達や、資産運用をサポートし、韓国の産業や金融市場の発展に貢献していきます。

※米州コーポレート債：米州企業（事業法人）が発行する、投資適格以上の外部格付を取得し、発行額 250 百万 USD 以上の債券。ただし、エマージング債・自社債・単独主幹事案件を除く。

以 上